

さくらら 通信

♡ 特別養護老人ホーム 加古川さくら園

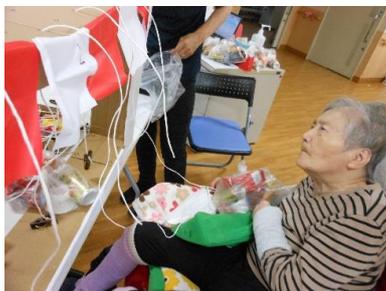
社会福祉法人 恕心福祉会 加古川さくら園 第54号

介護老人福祉施設 ショートステイ デイサービスセンター ヘルパーステーション ケアプランセンター

あかね・あおばユニット

夏祭り

晩夏の候、コロナで中止されていた「夏祭り」を開催しました。わたあめ・かき氷・たこ焼きを皆様に召し上がっていただき大変喜んで頂きました。(I)



夏の茶会

残暑が厳しいこの日、少しでも涼を感じて頂きたいと思
いスイカとクリームソーダを召し上がって頂きました。
「美味しかった」と皆様大変喜ばれていました。(I)



行事報告 特養

うぐいす やまぶきユニット

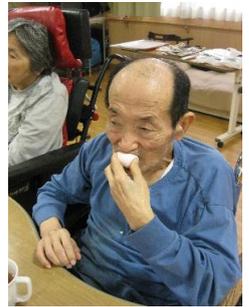
お好み焼き

入居者様にも協力していただき、お好み焼きを作りました。生地を焼きひっくり返してもらい、うま焼けました。ソースの匂いで食欲がそそられ、普段少食の方も沢山召し上がりました。(Y)



敬老会

今年もリクエストが多かった「お寿司」で敬老会を行いました。沢山あったお寿司はあっという間に減っていき、皆様に満足して頂けたようでした。「やっぱりお寿司はいいね！」と笑顔が見られ楽しい敬老会となりました。(Y)



つつじ ききょうユニット

フルーツ作り

入居者様と協力をして「フルーツ」を作りました。『とても美味しかった』や『また作ってね』と大変好評でした。(O)



夏祭り

ゲームに参加し楽しまれたり、美味しい食事を頂いたりと皆様思い思いに過ごされ、『とてもいい思い出が出来た』とおっしゃられていました。(O)



デイサービス運動会



みなさんの賑やかな大声が聞こえた玉入れ！紅白どちらの勝利？・・・今年は同点でした。

パン早取り勝負！あんぱんgetで15時のおやつ

3名で力を合わせて綱引き



魚釣りゲーム



魚だけではなく、お肉・ビール・おれ、、、釣れる物で笑いがおこったり、対抗戦では狙った物を取り合ってます。



今日のおかず獲ったどー



みたらし団子



大玉転がし

14時から始まるゲームの中で一番人気の大玉転がしです!!



季節ごとのおやつ作りは利用者様のリクエストにお応えして作っています。お月見の日にみたらし団子を作りました。甘いおやつを食べて笑顔全開！誕生月にあたる方は皆様でお祝いをし、大変喜んで頂いています。



フラワーアレンジメント

ショートステイ



医務部門

アドバンスケアプランニング(ACP)という言葉をご存じでしょうか？

人生の最終段階にどのような医療やケアを希望するのか、医療・介護を受ける本人の意思決定をサポートする取り組みのことを言います。人間が生きていく上で、いつ、どこで、命を脅かすような重篤な病気やケガを負う状況になるか分かりません。そういった状況で、人生の最終段階が迫った時に、およそ70%の人が治療やケアについて自分で判断したり、要望を伝えたりできない状態に陥るといわれています。本人に代わって家族などが医療・介護関係者に希望を伝えられるようにするためにもACPは大いに役立ちます。しかし、ACPの取り組みはあくまで個人の意志によって進めていくものなので、考えたくないという人の気持ちも尊重されるべきです。

ACPを進める手順

1) 自分が大切にしたいことを考える

病気などで治療をする場合に、まず自分が大切にしたいことを考えます。例えば「家族にそばにいてほしい」「身内に負担をかけたくない」「苦痛を緩和する治療を受けたい」など、治療に際して自分が希望することを示します。

3) かかりつけ医に今後の経過や治療・ケアについて確認する

かかりつけ医に現在の体調や病状、予想される今後の経過、必要な治療・ケアについて確認しておきましょう。

4) 自分の希望を代理人や医療・ケア関係者と話し合う

治療・ケアへの希望について、代理人や医療・ケア関係者と話し合しましょう。どのような治療やケアを受けたいか、入院または在宅を希望するのかなど、自分の希望を率直に話し、理解を求めようにします。

5) 書面に記録し、周囲と共有する

話し合った内容を書面に記録し、周囲と共有します。ACPIは一度行っておけばいいというものではありません。時間の経過や状況によって本人の意向は変わっていくため、このサイクルをくり返し考え、話し合うことが大切です。

2) 信頼できる人を選び、考えた内容を共有する

自分で意思確認が困難になった場合に自分に代わり周囲に意思を伝えてくれる人を選び、考えた内容を共有しましょう。いつでも自分の思いを尊重してくれる、信頼できる人を選定します。

最期までその人らしさを医療や介護に反映させることがACPの目標です。

理事長・施設長のご挨拶



社会福祉法人 恕心福祉会
理事長 中田 喜久

ご挨拶

平素は社会福祉法人恕心福祉会に格別のお近づきをいただき心より御礼申し上げます。

令和5年8月から社会福祉連携推進法人日の出医療福祉グループの賛助会員法人となり、その理念である『お客様のよろこび、働く人のよろこび、地域のよろこび』の実現に向けて『人の暮らしの真ん中であしたをつくるお手伝い』をモットーに、今後とも役職員一同、力一杯頑張っております。

これからも地域社会に貢献し、地域に密着したサービスを心がける様、日々精進して参ります。志を持って安心と信頼、優しさと思いやりのある持続可能な福祉の実現に向け、誠心誠意進んで参る決意です。どうぞこれからも格別のご指導ご支援を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。



施設長ご挨拶

私たち社会福祉法人 恕心福祉会「加古川さくら園」は、法人名にある「恕(優しさ・思いやり)」を大切にしながら、その時代に応じた新しい福祉サービス、利用者様・ご家族・地域の皆様といった方々のニーズに合ったものをご提供いたします。

日の出医療福祉グループに参画し、そのグループ理念の一つである「お客様のよろこび」を叶えるため、福祉へ熱い思いを持ち、職員が一丸となったチームケアで利用者様への質の高いケアを追及します。

当施設が「あなたがあなたでいられる場所」であり、そういった環境を提供できるように。皆様に安心して利用していただける施設を目指してまいります。



加古川さくら園 施設長
大西 裕人

発行責任者

社会福祉法人 恕心福祉会 加古川さくら園
施設長 大西 裕人

〒675-0057

加古川市東神吉町神吉字北山1844番5
TEL 079-432-7300